

【精神看護学】

●目標Ⅰ. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
1. 精神保健の基本	A. 精神の健康の概念	a. 精神の健康の定義	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2-A	不安な現代社会	8
		b. 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章3-4-B-1/第Ⅲ章3-5-B-1 「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-C-4	早期介入の意義/働く人のメンタルヘルス 危機理論	150-151/159-160 119-120
	B. 心の機能と発達	a. 精神と情緒の発達	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章2/第Ⅲ章3	対象関係論からみたこころの発達/発達段階別にみる発達課題と精神の健康	123-130/131-173
		b. 自我の機能	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章1-A/第Ⅲ章1-B/第Ⅲ章1-C	自我～私とは何か～/自我はどのように形づくられるか/フロイトが発見したこと	112/113-114/114-115
		c. 防衛機制	「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章1-D/第Ⅲ章1-E	自我を守る働き:防衛機制/防衛機制を用いた理解のための注意	115-121/121-122
		d. 精神力動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-4-a	精神分析療法	194-195
		e. 転移感情	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-4-a	精神分析療法	194-195
	C. 精神の健康に関する普及啓発	a. 偏見、差別、スティグマ	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章3-A/第Ⅰ章7/第Ⅱ章3-A 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-A	ケア対象者が自分の力を信じられる援助/人権を守るために—精神看護における基本的人権と倫理的配慮/こころのバリアフリー宣言 精神障害者が地域で自立した生活を送るために	15-16/59-65/108 249-250
		b. 精神保健医療福祉の改革ビジョン	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章2/第Ⅱ章3-D	精神医療福祉の現状と課題/新健康フロンティア	100-107/109-110
	D. 危機<クライシス>	a. 危機<クライシス>の概念	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-C-2	危機の概念	116-117
		b. 危機<クライシス>の予防	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-C-4	危機と予防	119-120
		c. 危機介入	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-C-3	危機への介入:問題解決アプローチ	117-119
		d. ストレスと対処	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章2/第Ⅲ章3-5-B-2	現代社会とこころの健康/ストレスチェック制度	8-14/160-161
		e. 適応理論	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-E/F	リカバリー/レジリエンス	
	E. 災害時の地域における精神保健医療活動	a. 災害時の精神保健医療活動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-B	災害とその対策	285-292
		b. 災害時の精神保健に関する初期対応	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-B	災害とその対策	285-292
		c. 災害時の精神障害者への治療継続	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-B	災害とその対策	285-292
	F. 精神の健康とマネジメント	a. 心身相関と健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章	一般病床における精神看護	175-232
		b. 身体疾患がある者の精神の健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章	一般病床における精神看護	175-232
		c. 精神疾患がある者の身体への健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅷ章1-E/第Ⅷ章1-F	身体の慢性疾患との合併/手術が必要な状態へのケア	182-187/187-190
		d. 患者と家族の精神の健康	「精神看護学Ⅱ」第Ⅲ章3-6-C 「精神看護学Ⅱ」第Ⅶ章2-B	家族ケア 家族機能	171-173 147-149
		e. 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章1-10/第Ⅳ章2	看護師のメンタルヘルス/リエゾン精神看護とは	221-225/226-232
		f. 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-A-6	看護にバイオ・サイコ・ソーシャルモデルを取り入れることの意義	110
g. リエゾン精神看護		「精神看護学Ⅰ」第Ⅳ章2	リエゾン精神看護とは	226-232	
h. 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進		「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-B/第Ⅰ章4-C/第Ⅰ章4-D/第Ⅰ章4-E/第Ⅰ章4-F	精神科でのチーム医療の必要性/チーム医療における多職種役割/病院における精神科チーム医療と看護/地域における精神科チーム医療と看護/精神科リエゾンチームと看護師の役割	22-23/23-34/34-35/35-36/36-37	

●目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A. 症状性を含む器質性精神障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-H	器質性精神障害	86-92

B. 精神作用物質使用による精神・行動の障害	※ A～Lの共通の小項目 a. 症状と看護 b. 臨床検査及び心理検査と看護 c. 薬物療法と看護	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-E	精神作用物質関連障害	78-86
C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-A	統合失調症と関連疾患	57-63
D. 気分＜感情＞障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-B	気分障害	63-70
E. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-C	神経症性障害、ストレス関連障害および身体症状症	70-75
F. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-D	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	75-78
G. パーソナリティ障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-F	パーソナリティ障害	84-86
H. 習慣および衝動の障害		「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-3-Dコラム/ 第Ⅲ章3-3-A-3	新たな疾病分類「ゲーム障害」/インターネット依存、ゲーム依存	87/144
I. 性同一性障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-G	性行動の障害(性関連性障害)	86
J. 知的障害＜精神遅滞＞		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-J	知的能力障害	94-95
K. 心理的発達の障害		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-I	神経発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症)	92-94
L. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害		「精神看護学Ⅰ」第Ⅲ章3-3-A/第Ⅲ章3-4-A	乳幼児期から学童期にみられるメンタルヘルス上の問題/思春期から青年期にみられるメンタルヘルス上の問題	143-145/148-150
		「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-L	起立性調節障害	96-97

●目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
3. 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A. 援助関係の構築	a. 信頼関係の基礎づくり	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章3 「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章4	看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割 精神看護におけるアセスメントの特徴	15-18 98-104
		b. 患者—看護師関係の発展と終結	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-C	カウンセリング	219-223
		c. プロセスレコードの活用	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-D	プロセスレコード	223-228
	B. セルフケアへの援助	a. 食物・水分の摂取	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		b. 呼吸	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		c. 排泄	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		d. 清潔と身だしなみ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		e. 活動と休息	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		f. 対人関係	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
		g. 安全	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章6-B	セルフケアモデル	110-115
	C. 生きる力と強さに着目した援助	a. レジリエンス	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-F	レジリエンス	128-133
		b. リカバリ＜回復＞	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-E	リカバリー	122-128
		c. ストレングス＜強み、力＞	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章5-D	ストレングスモデル	120-122
		d. エンパワメント	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章3-B	ケア対象者の安全と安寧を守る	16

●目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
4. 精神疾患・障害がある者への看護	A. 脳の仕組みと精神機能	a. 脳の部位と精神機能	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-A/第Ⅵ章1-C/ 第Ⅵ章1-D/第Ⅵ章1-E/第Ⅵ章1-F	脳を構成する細胞とその機能/中枢神経系と末梢神経系/脳の構造と機能/精神機能を司る大脳の部位と働き/脳室	34-36/38-39/39-41/41-43/43
		b. 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-B	神経伝達物質と精神疾患	37-38
		c. ストレス脆弱性仮説	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章3-2-C-3-1/ 第Ⅷ章2-B-2	適応障害/心理教育の基盤となる考え方	73/206
		d. 脳と免疫機能	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B-2	心理教育の基盤となる考え方	206
		e. 睡眠障害と概日リズム＜サーカディアンリズム＞	「精神看護学Ⅱ」第Ⅵ章1-D-d 「病態・治療論[12] 精神疾患」	松果体 睡眠障害	41 176-185

B. 心理・社会的療法	a. 個人精神療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-3-a	個人精神療法	193
	b. 集団精神療法、集団力動	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-3-b	集団精神療法	193-194
	c. 心理教育的アプローチ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	心理教育	205-207
	d. 認知行動療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-4-c/第Ⅷ章2-C	認知行動療法/認知行動療法におけるアセスメントと支援	197-202/207-211
	e. 生活技能訓練<SST>	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-D-2	SST(社会生活技能訓練)	236-237
C. B以外の治療法	a. 電気けいれん療法	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章1-C/第Ⅷ章1-D	電気けいれん療法(ECT)/修正型無けいれんECT(m-ECT)における看護の役割	174-177/177-182
D. 家族への看護	a. 家族のストレスと健康状態のアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	家族機能	147-149
	b. 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	家族機能	147-149
	c. 家族システムのアセスメント	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	家族機能	147-149
	d. 家族への教育的介入と支援	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-A-4-e-(1)/第Ⅷ章2-B	家族療法/心理教育	203-204/205-207
	e. 患者-家族関係	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章2-B	家族機能	147-149
E. 社会復帰・社会参加への支援	a. リハビリテーションの概念	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-B	精神科リハビリテーションの概念	232-233
	b. 国際生活機能分類<ICF>	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-C-1	国際生活機能分類(ICF)	233
	c. 長期入院患者の退院支援	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章2-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-E/第Ⅷ章4-1-F	患者の退院に向けた精神医療の実現のための方策 入院と地域をつなぐかわり/包括的リハビリテーションとは	102-103 240-244/244-245
F. 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a. 精神科デイケア、精神科ナイトケア	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章2-D-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-E-1	デイケアの役割 精神科デイケア	104 240-241
	b. 精神科訪問看護、訪問看護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章2-D-1 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-E-2/第Ⅷ章4-4	訪問看護・アウトリーチの役割 精神科訪問看護/精神科訪問看護	103 241/267-271
	c. 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-3-B	行政や地域で精神障害者を支援する関係機関等との協働	264-266
G. 社会資源の活用とケアマネジメント	a. 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-F-2	ケースマネジメント	244-245
	b. 社会資源の活用とソーシャルサポート	「精神看護学Ⅰ」第Ⅷ章4-2	地域での自立・統合への支援	249-259
	c. セルフヘルプグループ	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章3-B/第Ⅷ章4-2-E-1	セルフヘルプグループ/患者会、家族会などのセルフヘルプグループ	215-219/258-259
	d. 自立支援医療	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-2-4 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-1	提供するサービスの対象と概要 自立支援医療(精神通院医療)	78-80 251
	e. 居宅介護<ホームヘルプ>、同行援護および行動援護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(1) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-2	介護給付	79 251
	f. 重度訪問介護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(1) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-2	介護給付	79 251
	g. 生活介護	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(1) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-2	介護給付	79 251
	h. 短期入所<ショートステイ>	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(1) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-2	介護給付	79 251
	i. 共同生活介護<ケアホーム>	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(2) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-3	訓練等給付	79-80 251-254

	j. 生活訓練	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(2) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-3	訓練等給付 訓練等給付	79-80 251-254
	k. 就労移行支援	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(2) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-3	訓練等給付 訓練等給付	79-80 251-254
	l. 就労継続支援A型・B型	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(2) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-3	訓練等給付 訓練等給付	79-80 251-254
	m. 共同生活援助<グループホーム>	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-b-(2) 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-3	訓練等給付 訓練等給付	79-80 251-254
	n. 地域生活支援事業	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-2-A-4-a 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-B-5	自立支援給付と地域生活支援事業 地域生活支援事業	78-79 255-257
	o. 精神障害者保健福祉手帳	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-2-C	精神障害者保健福祉手帳に基づくサービスの概	257

●目標Ⅴ. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
5. 安全な治療環境の提供	A. 安全管理<セーフティマネジメント>	a. 病棟環境の整備と行動制限	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A-2	精神科医療・精神看護におけるセーフティマネジメントと事故防止	280-284
		b. 自殺、自殺企図、自傷行為	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A-2	精神科医療・精神看護におけるセーフティマネジメントと事故防止	280-284
		c. 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A-2	精神科医療・精神看護におけるセーフティマネジメントと事故防止	280-284
		d. 災害時の精神科病棟の安全の確保	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-B	災害とその対策	285-292
6. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A. 患者の権利擁護<アドボカシー>	a. 当事者の自己決定の尊重	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章7-B-1/第Ⅰ章7-C-1	インフォームド・コンセント/自己決定権の侵害	59-60/61-62
		b. 入院患者の基本的な処遇	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章7-A/第Ⅰ章7-B/第Ⅰ章7-C/第Ⅰ章7-D/第Ⅰ章7-E/第Ⅰ章7-F/第Ⅱ章1-1-A-5	人権とは/医療者が行うべき倫理的配慮/とくに精神科医療場面で注意すべきこと/精神看護に関する倫理原則と倫理綱領/守秘義務と個人情報保護/患者の権利と人間の尊厳/入院者の処遇	59/59-61/61-62/62/62-63/63/71-72
		c. 精神医療審査会	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-1-A-6	精神医療審査会	72
		d. 隔離、身体拘束	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章7-C-2 「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章5-A-2-b-(2)	身体の自由に対する権利の侵害 行動制限によって起こる身体的リスクや事故	62 281-282
	B. 精神保健医療福祉の変遷と看護	a. 諸外国における精神医療の変遷	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-A	世界における精神医療の歴史の変遷	50-52
		b. 日本における精神医療の変遷	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-B/第Ⅰ章6-C	日本における精神医療をめぐる歴史の変遷/近年の日本における精神医療の発展	52-54/54-57
		c. 精神保健医療福祉における看護師の役割	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章6-B/第Ⅰ章6-C	日本における精神医療をめぐる歴史の変遷/近年の日本における精神医療の発展	52-54/54-57
	C. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の運用	a. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の基本的な考え方	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-1-A	精神保健福祉法	69-73
		b. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>による入院の形態	「精神看護学Ⅰ」第Ⅱ章1-1-A-4	精神保健福祉法に基づく入院形態	70-71
		c. 精神保健指定医	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-1-b	精神科医の資格	23-24
		d. 作業療法士	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-3	作業療法士	25-27
		e. 精神保健福祉相談員	「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-H-2	精神科外来におけるチーム医療	247
	7. 精神保健医療福祉における多職種連携	A. 多職種連携と看護の役割	a. 医師、歯科医師	「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-1	精神科医
b. 保健師			「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-3-B-1	行政で働く看護職(保健師など)の役割と協働	264-265
c. 精神保健福祉士			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-2	精神保健福祉士	24-25
d. 作業療法士			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-3	作業療法士	25-27
e. 精神保健福祉相談員			「精神看護学Ⅱ」第Ⅷ章4-1-H-2	精神科外来におけるチーム医療	247
f. ピアサポーター			「精神看護学Ⅰ」第Ⅰ章4-C-7	ピアサポーター	32-33

	g. 藥劑師	「精神看護学 I」第 I 章 4-C-5	藥劑師	29-30
	h. 栄養士	「精神看護学 I」第 I 章 4-C-6	管理栄養士	30-31
	i. 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師)	「精神看護学 I」第 I 章 4-C-4	心理専門職(臨床心理士, 公認心理師)	27-29